

コンクリート防食被覆工法・シートライニング工法

『ジックボードGR工法』

日本ジッコウ



ックボードS工法、型枠型としてジックボードK工法とプリプレグ後貼り型としてHK S工法など用途に応じた工法がラインナップされている。今回、同展覧会で紹介された「ジックボードGR工法」は、20数年間の施工実績を有し、供用施設の追跡調査結果と促進試験の結果から、竣工から50年後でも「接着安定性」「耐硫酸性」「遮断性」の各性能を維持できることを検証しており、耐用年数50年を実現した工法である。

同工法は、高耐食性ビニルエステル樹脂FRP板の裏面に立体クロスを一休成型した複層成型板（ジックボード2mm厚）を無機質系グラウト材で躯体に全面接着させるコンクリート防食被覆工法であり、50年間の耐用年数を有することにより、塗布型ライニング工法や他のシートライニング工法と比較して、ライフサイクルコストの低減が可能である。

特長としては――。

□ジックボードGR工法の目的地は、表面と裏面のFRP成型品および耐食性シール材の三重構造とし、応力集中などによる目地部の損傷を防止する優れた耐久性機能を付与している。

□ジックボード裏面に注入するジックグラウトは、改築工事時の劣化部除去後の断面修復工程を兼ねることが可能である（※）。

用途として――下水道処理施設、し尿処理施設、農業集落排水施設、ポンプ施設、工場排水処理施設などの過酷な侵食を受ける供用環境下において、メンテナンスフリーが求められるコンクリート施設部位など。

なお、「ジックボードGR工法」は、日本下水道事業団「下水道コンクリート構造物の腐食抑制技術および防食技術マニュアル」成型品後貼り型シートライニング工法D種の品質規格に適合している。

<https://www.jikkou.co.jp>

□ジックボード裏面に

co.jp

日本ジッコウ（神戸市）

西区南別府一―一四―六、☎〇七八―九七四―一三八）は、八月一日～四日まで札幌ドームで開催された「下水道展」で、コンクリート防食被覆工法「ジックボードGR工法」などを紹介し、来場者より注目を集めた。

極度に見られる環境下や点検・補修・改築が困難な場所でもメンテナンスフリーが求められる施設に適用されている。

シートライニング工法

同社では、大幅なライニングコストの低減が図れる「シートライニング工法」を推奨してい

成型品後貼り型として、ジックボードGR工法、ジックボードT工法、ジックボードGR工法、



ジックボードGR工法（施工前㊤と施工後㊦）